

# 全7議案承認 TPPで特別決議



5月30日(土)、JA越後おぢやは、小千谷市民会館大ホールで、第12回通常総代会を開きました。

総代488人の内、本人と代理・書面出席を合わせて442人が出席。平成26年度事業報告や27年度事業計画、第3次地域営農振興計画、第4次総合3力年計画など、全7議案を承認しました。

来賓には、大塚昇一(小千谷市長をはじめ)、宮崎悦男(新潟県議会議員)、久保田久栄(小千谷市議会議長)、和田重和(小千谷市農業委員会会長)、川上東陽(小千谷市土地改良事業団体連絡協議会長)、岡村忠栄(小千谷市農林課長)、穂刈清(JA青年部長)、中村

一美(JA女性部長より)ご臨席を賜りました。

『豊かな食』『夢ある農』『明るい地域』VS『信頼されるJA』目指す

開会に当たり谷口熊一代代表事組合長は「第3次地域営農振興計画と第4次総合3力年計画のビジョンに掲げた『豊かな食』『夢ある農』『明るい地域』づくりと信頼されるJA」を目指し、役員員一体となって取り組んでいく」とあいさつ。また、農協法改正案に触れ「農協法改正が農業者の所得増大にいかにつながるか明確な説明はまだありません。農業・JAは厳しい情勢に



▲あいさつをする谷口代表理事組合長

あることから改革は必要だが、JAは組合員のための組織であることから、政府主導ではなく自らの意思で改革を行うことが必要だ」と述べました。

## TPP交渉に関する特別決議満場一致で決議

議事後、環太平洋連携協定(TPP)交渉に関する特別決議が提出され、JA青年部の穂刈部長が「我われJAグループは、引き続き、『豊かな食』『夢ある農』『明るい地域』などの国会決議の実現を徹底して求めていく」と力強く朗読。総代の拍手により満場一致で決議されました。



▲議案を慎重審議する総代の皆さん



▲JA綱領の音頭を取る中村JA女性部長



▲議長を務める城川支店管内の井口四一郎氏



▲JA綱領を唱和する総代の皆さん



▲農業の発展を祈念して万歳三唱をする総代の皆さん



▲TPP交渉に関する特別決議を満場一致で決議



▲TPP交渉に関する特別決議を朗読する徳対JA青年部長

## 経営理念

### 『組合員の負託に応え、地域社会に貢献する』

当JAの今後3年間の目指すものを「次代につなぐ協同の力・豊かな食・夢ある農・明るい地域づくり」と信頼されるJAをめざしてとし、左記の3点を経営ビジョンとしました。

#### (1) 未来へつながる

##### 「豊かな食」「夢ある農」

次代につなぐ担い手支援と魚沼米の販売力強化、園芸特産物の振興をすすめ、安全安心な「越後おぢやブランド」を確立し、農業所得の向上をささえます。

#### (2) 協同の力を結集した

##### 「明るい地域づくり」

食と農に関する相互理解を深め、総合的な事業を通じて、安心して暮らせる地域社会を実現します。

#### (3) 地域の要望に応え、

##### 「信頼されるJA」

支店を中心とする協同活動を通じて地域・組合員とのつながりを大切に、組

織基盤を確立することでも、役職員の意識改革を図り信頼に応える事業・経営を展開します。

《第4次総合3カ年計画より》

#### JAグループ自己改革の

##### 基本目標

#### (1) 農業者の所得増大

#### (2) 農業生産の拡大

#### (3) 地域の活性化

「食と農を基軸に地域に根ざした協同組合」として、農業者、地域住民と一緒に「持続可能な農業」「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現を目指します。

当JAの役職員は、経営理念のもと、企業とは異なるJAとしての特性を発揮し、目標の達成に向け、常に組合員や地域に貢献することを心がけて行動します。